

感染状況・医療提供体制の分析(12月2日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (11月25日時点)	現在の数値 (12月2日時点)	前回との比較	分析コメント
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	99人 (5.2人)	85人 (4.5人)	→	総括コメント 感染が拡大していると思われる
		60歳以上	17人	17人	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	69人	66人	→	新規陽性患者が、人口10万人当たり4.5人。 新規陽性者数や接触歴不明者の割合はやや低下するも、60歳以上の新規陽性者数は変わらず、感染拡大は継続している。 県南東部と県南西部での感染が継続している。 重症化リスクの高い高齢者だけでなく、あらゆる世代、あらゆる場面で感染の機会を減らすことが必要である。
		県南西部	23人	15人	→	
		高梁・新見	0人	0人	→	
		真庭	0人	0人	→	
	津山・英田	7人	4人	→		
市中感染 潜在	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	39人	24人	→	
		割合 (③/①)	39%	28%	→	
医療提供体制	④入院患者数		92人	89人	→	総括コメント 体制が逼迫しつつあると思われる
	⑤確保病床における入院割合		30%	29%	→	入院割合はステージⅢに相当。日々の感染対策について再確認と徹底が必要である。重症患者数の増加が今後懸念される。
	⑥重症者数		3人	5人	→	